

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業J-T*	事業名
一般	03	01	02	0405	交流・生きがいつくり支援事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	---

《事業目的》

高齢者の生きがいつくり

《事業開始の背景》

老人福祉法第5条に基づく事業展開。敬老会については、高齢者の長寿を祝い高齢者福祉の向上、敬老思想の高揚を図るため、各地域で開催される敬老事業の事業費を補助するもので、合併以前より各市町で取り組まれており、合併後は、社協への事業補助先を統一した経緯がある。

《事業概要》

○ふれあい・あんしん交流事業補助  
 ・一人暮らし高齢者等ふれあい昼食会（市全域24地区 44回開催予定）  
 社協主催による一人暮らし高齢者等を招待し昼食を兼ねた交流会事業への補助。  
 ・地域ふれあいホーム事業（大迫地域12地区96回、石鳥谷地区55地区548回開催予定）  
 社協主催による高齢者地域サロン事業への補助。  
 ○敬老会事業補助  
 ・社会福祉協議会への事業補助により各地区の敬老会開催を支援。併せて米寿、101歳以上長寿者、記念品を贈呈。地域によっては主催者が社会福祉協議会であったり、地区実行委員会、コミュニティ会議、自治会等であったりするが、便宜上社会福祉協議会を通じて補助金交付を地区へ交付している。

市民参画の有無 [ 対象外 ]

《事業展開の留意事項》

--	--	--	--	--	--

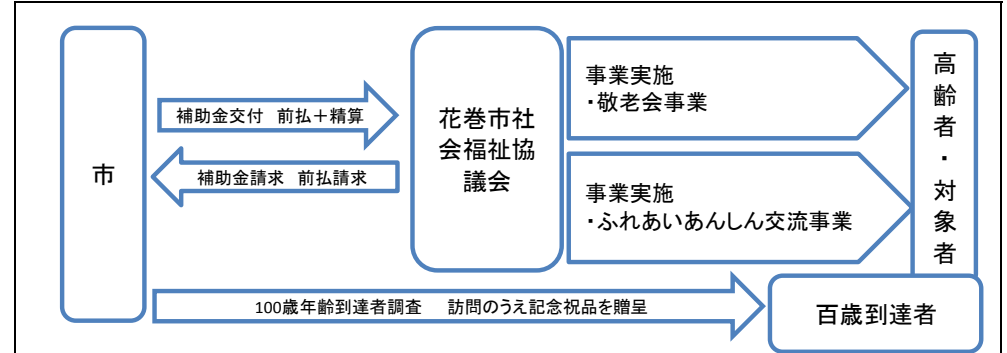
《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)
① ふれあい昼食会参加人数	人	目標	1,086	1,104	
		実績	1,151	1,120	
② 地域ふれあいホーム参加人数	人	目標	7,440	7,548	
		実績	10,363	10,929	
③ 敬老会参加率	%	目標	46	46	
		実績	39.5	38.5	

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	健康福祉部	長寿福祉課	坊澤尚行	514

	25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費	22,679				23,423
財源内訳	国県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	22,679			23,423

《事業手法の詳細》



- 敬老会事業補助・・・H25決算額 20,979千円**  
**【目的】**高齢者福祉について市民の関心と理解を深め、高齢者自身に対し生きがいを持った生活意欲の向上を促す。  
 19節負担金補助金:19,960千円 【交付先】花巻市社会福祉協議会  
**【内容】**各地区で開催されている敬老会の開催補助  
 75歳以上高齢者人口(施設入所者除く)×@1,200円  
 米寿 金杯贈呈 【記念品贈呈】米寿、百寿、101歳以上長寿者に敬老会式上で記念品を贈呈  
 百歳 誕生日祝花記念品贈呈 その他、百寿到達者に対し、誕生月に市長メッセージ記念品と祝花贈呈  
 百歳 敬老会記念品贈呈 ※敬老会開催地区 19地区63行政区  
 101歳以上 記念品贈呈
- ふれあい・あんしん交流事業補助金・・・H25決算額 1,700千円**  
**【目的】**高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち「気軽に参加」できる交流会を通じて地域の様々な機関団体とつながりを持ち共に支え合う地域体制づくりを構築するための一助とする。  
 19節負担金補助金:1,700千円 【交付先】花巻市社会福祉協議会  
**【内容】**一人暮らし高齢者等が集う昼食会、サロン活動等の事業補助  
 ・一人暮らし高齢者等ふれあい昼食会 市内24地区全域  
 ・地域ふれあいホーム 大迫地区16地区実施予定  
 石鳥谷地域55地区実施予定

交流・生きがいつくり支援事業 (総括表)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業J-T*	事業名
一般	03	01	02	0405	交流・生きがいつくり支援事業

総合計画	政策 3	保健・医療・福祉のネットワーク ク拡充で安心のまちづくり	施策 3-3	高齢者や障害者がまちで暮らす真の ノーマライゼーションへの取り組み
目的	高齢者の生きがいつくり			
対象	○ふれあい・あんしん交流：一人暮らし高齢者や高齢者世帯等 ○敬老会：75歳以上の高齢者			
意図	高齢者が、地域で安心して暮らせる。			

《事業概要》

○ふれあい・あんしん交流事業補助  
 ・一人暮らし高齢者等ふれあい昼食会（市全域24地区 44回開催予定）  
 社協主催による一人暮らし高齢者等を招待し昼食を兼ねた交流会事業への補助。  
 ・地域ふれあいホーム事業（大迫地域12地区96回、石鳥谷地区55地区548回開催予定）  
 社協主催による高齢者地域サロン事業への補助。  
 ○敬老会事業補助  
 ・社会福祉協議会への事業補助により各地区の敬老会開催を支援。併せて米寿、101歳以上長寿者、記念品を贈呈。地域によっては主催者が社会福祉協議会であったり、地区実行委員会、コミュニティ会議、自治会等であったりするが、便宜上社会福祉協議会を通じて補助金交付を地区へ交付している。

市民参画の有無 [ 対象外 ]			
市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① ふれあい昼食会実施回数	回	計画	45	46	
		実績	43	44	
② 地域ふれあいホーム実施箇所数	箇所	計画	67	68	
		実績	72	77	
③ 敬老会開催数	会場	計画	81	81	
		実績	81	78	
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① ふれあい昼食会参加人数	人	目標	1,086	1,104	
		実績	1,151	1,120	
② 地域ふれあいホーム参加人数	人	目標	7,440	7,548	
		実績	10,363	10,929	
③ 敬老会参加率	%	目標	46	46	
		実績	39.5	38.5	

要因分析	達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値より高い	<input type="checkbox"/> 概ね目標値どおり	<input type="checkbox"/> 目標値より低い
社会福祉協議会、各地域包括支援センター、民生委員などにより広く周知が図られている。				

《環境変化、意見・要望》

高齢者の身近な集いの場の創出として、地域サロンづくりの推進が強く求められ、社協では行政区に1サロンの目標を掲げ推進している。

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	増加する高齢者の支援として市の関与は責務である。
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	核家族化が振興しておりひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増加し益々高齢者同士のふれあいの機会が求められている。また地域ぐるみで高齢者を支えるため、地域住民との交流が必要であり、今後参加者の増加のため広報活動に努めるとともに地域の実情に合わせた事業展開を図る必要がある。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	現状を維持しつつ、敬老会事業は現行の補助内容について更なる検討が必要と考える。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である	地域サロンづくりは市内全域での取り組みを推進していく必要がある。また、敬老会事業は現行の開催手法、内容について更なる検討が必要と考える。

《総合評価》

敬老会事業により、地域高齢者の敬老を地域を挙げて長寿を祝することで、地域住民の敬老意識の向上が図られた。地域サロンづくりを推進することで、地域高齢者の気軽に身近に集える場の創出により、楽しいを持った暮らしづくり、閉じこもり防止、生きがいつくりに資することができた。